

早朝からの賑やかな蝉の声も「立秋」を過ぎると、夕暮にはリズムカルな鈴虫の音色と共に、秋の気配を感じる季節となりました。また、梅雨が明けると危険を感じる猛暑日が続く、台風10号の影響であつた大きく過ぎたお盆でもありました。農業災害の発注率も45%を超え、確実に災害復旧は進捗をしています。

しかし、JR日田彦山線は現在も復旧工事に着手出来ない状況が続いています。8月13日には、日田市長、添田町長と対談し今後もJR九州には「1.6億円の運行支援なしでの鉄道での復旧」を求めて行く方針を再確認しました。また、8月31日には村民の方々による「日田彦山線の早期復旧を求める東峰村住民決起大会」が開催されます。

この「村長ナビ」では、村外での行事等を中心に皆さんにお知らせ致します。

7月16日、JR日田彦山線復旧に関して添田町長と共に、県企画・地域振興部長、交通政策課長と今後について協議。運行に係る財政負担なしの鉄道での復旧を改めて強く求めました。



18日、福岡県議会の各会派の代表が「朝倉地区等災害復旧状況視察」で来村。筑前岩屋駅からJR日田彦山線の現状、本迫川の復旧状況を視察しました。

19日、「令和元年度交通事故をなくす福岡県県民運動本部総会」に出席。県内の交通事故は統計が残る昭和21年以降最少(31,279件)となりましたが、飲酒運転のみが増加しています。「飲酒運転は絶対しない、させない、ゆるさない。そして見逃さない」という意識の定着が求められます。

22日、「福岡県介護保険広域連合議会第2回定例会」に出席。

24日、「主要地方道八女香春線国道昇格及び整備促進に関する要望」を福岡県並びに九州地方整備局に沿線自治体首長、議長、地元選出の県会議員で行いました。

26日、九州地方整備局において「平成29年九州北部豪雨災害からの復旧・復興」の演題で東峰村の現状の講演を行いました。

28日、添田町の「JR日田彦山線協議経過報告会」に出席。添田町在住の方々からは、鉄道での復旧を要望する声が相次ぎました。

また、30日に開催された東峰村での「JR日田彦山線に関する住民報告会」でも、同様の意見が大多数でした。

8月1日、福岡県河川協会通常総会に出席。本協会には、本村も先の豪雨災害での復旧には大変支援を受けています。



2日、福岡県道路協会通常総会に出席。本協会は、県内道路の整備、改善、交通環境等の改善を図る事を目的としています。

3日、来年の東京オリンピック・パラリンピックの選手村施設の建設に使われる、東峰村産の木材の出荷式が執り行われました。

6日、天皇陛下御即位福岡県奉祝委員会結成式が多くの方々の出席により執り行われました。福岡県では本年10月6日に天皇陛下御即位福岡県奉祝会が開催されます。



7日、福岡県議会「民主県政県議団」の19名の県議団が来村し、災害復旧状況と手つかずのJR日田彦山線の状況を視察しました。

8日、福岡県砂防協会「第74回通常総会」に出席。本協会は、本村の豪雨災害後の砂防計画等を実施しています。

9日、朝倉地区人権・同和対策推進協議会総会が開催され、事業報告等並びに活動方針等を承認。なお、平成28年制定された「部落差別の解消の推進に関する法律」の制定に伴い、各自治体は「部落差別を始めあらゆる差別の解消を推進し人権を擁護する条例」の推進に取り組みます。

13日、九州北部豪雨で不通区間となったJR日田彦山線復旧に関し、被災沿線自治体首長が今後の対応などを話し合い、JR九州には「運行支援なしでの鉄道での復旧」を改めて求めていく方針を確認しました。

黄金色に実った稲穂の収穫で多忙な中、皆様におかれましては体調管理にも十分注意をお願い致しますと共に、今後も村政へのご協力とご支援を宜しくお願いいたします。

※この「村長Navi」は令和元年8月16日時点で執筆されたものです。

Photo Gallery

フォトギャラリー



▲遠く線路を望む場所に咲いた真っ赤なダリアが印象的でした

今月の写真：「季節は秋へ - ある日のむらの風景 -」



▲勢いよく水が流れる棚田親水公園



今年は梅雨が明けても…
台風や大雨の日が沢山ありました
それでも東峰村の自然は
確実に季節の移ろいの姿を
見せてくれます



▲8/22 開花を迎えたつづみの里周辺のひまわり



▲ハグロトンボ (カワトンボ科)



▲シオカラトンボ (別名：ムギワラトンボ)



▲岩屋キャンプ場入口(岩屋神社参道)の鳥居

毎月23日は親子読書の日です。本を読みましよう

東峰村公民館